



みささ 議会だより

第95号 平成26(2014)年 4月号

主な内容…… 3月定例会、常任委員会、一般質問

ピカピカの1年生
東小学校に4人が入学

3月定例議会

3月6日～3月20日までの15日間

平成26年度一般会計

歳入・歳出

54億894万1千円

(前年度 43億1千万円)

一般質問は5名

6件の事業

事業費を削除された事業は、次の通り。(削除され

「小鹿地区多目的集会施

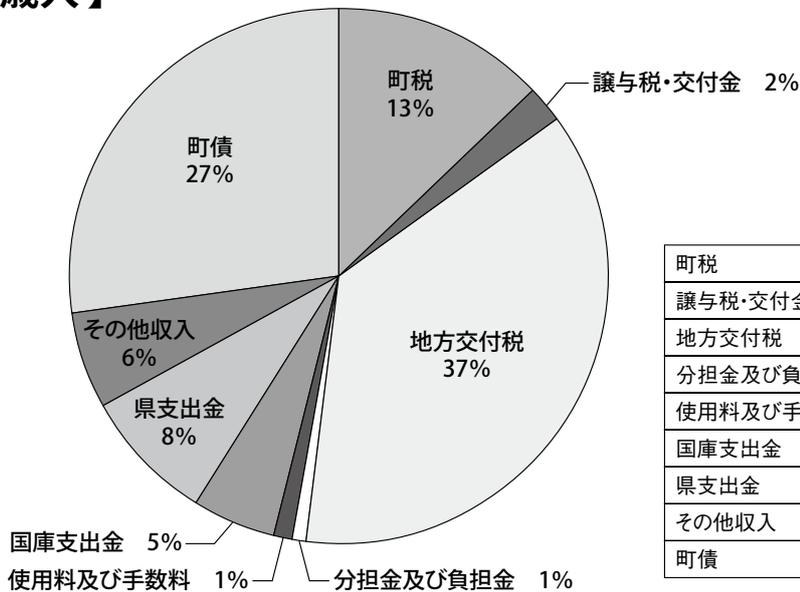
「竹田地区公民館耐震改

※上記、4件の事業については、全員「不認定」

「正善院保存修理事業補

※「正善院保存修理事業補助金」「国民宿舎事業会計出資

【歳入】



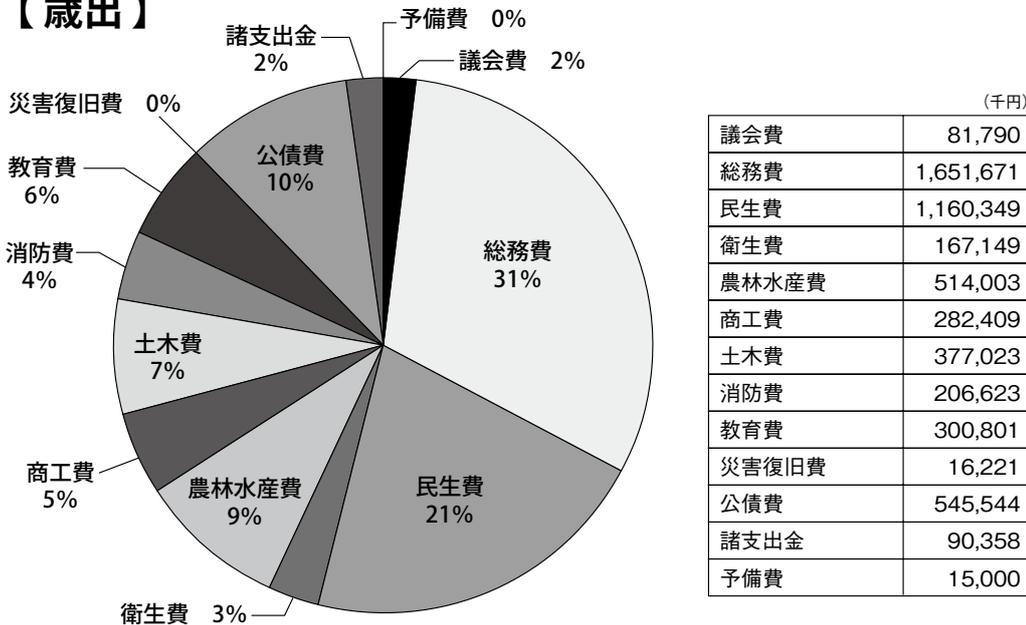
(千円)	
町税	686,859
譲与税・交付金	130,929
地方交付税	1,982,000
分担金及び負担金	39,516
使用料及び手数料	48,510
国庫支出金	256,193
県支出金	460,414
その他収入	309,520
町債	1,495,000

防災無線デジタル

960,12



【歳出】



(千円)	
議会費	81,790
総務費	1,651,671
民生費	1,160,349
衛生費	167,149
農林水産費	514,003
商工費	282,409
土木費	377,023
消防費	206,623
教育費	300,801
災害復旧費	16,221
公債費	545,544
諸支出金	90,358
予備費	15,000

バス路線維持費

40,29



費を削除する修正案を可決

た理由については、P6をご覧ください。)

設耐震改修事業」「高勢地区公民館耐震改修事業」
修事業」「メイド・インみささプロジェクト支援事業」

助金」「国民宿舎事業会計出資金(国民宿舎事業管理者の給与に関する部分)」

金(国民宿舎事業管理者の給与に関する部分)」については、「認定すべき5」・「認定に反対6」で事業費削除となりました。

化整備事業

9千円



永楽庵跡地に多目的駐車場
(土地購入費)

69,481千円



トレーニングセンター
耐震改修事業

70,688千円



対策補助金

5千円



小中学校遠距離通学費補助事業

4,476千円



三朝温泉開湯850年記念事業

23,000千円



常任委員会で 慎重審議

委員会における主な質疑

産業民生常任委員会



企画観光課

○ふるさと健康むら整備事業 33,316千円

(委員) 33,316千円かけるが、これまで、皆さんから廃止しなさいという声が強かった。その部分については、どう考えるか？空き店舗の問題も含め、分割するのではなく街なみ再生の中で整備していくべき。

(回答) 健康むらリニューアルオープンするに当たって、旅館や地域との連携をしながら、宣伝に努めて、利用促進に努める。

温泉街と拠点施設を結びつける周遊という部分に着目して、健康むら散策、街歩きをされる場合の拠点になるもの。

○観光施設管理費（三朝温泉入口観光案内広告塔設置事業） 14,971千円

(委員) 観光案内の電光掲示の広告塔は、どういうもの？

(回答) トンネル手前の分岐で真っ直ぐ行かれてしまう事もあり、温泉街に誘導するための表示や、ウェルカム表示、観光案内表示をと考えている。

○観光施設管理費（三徳山因伯の名水遊歩道整備事業） 15,984千円

(委員) 因伯の名水は、どこかみんなが知っているか？内訳は。

(回答) 数年前から、崩れたりという状況があり、通行止めにしてきた。今回、国立公園を機に多くのお客様に来ていただく中で、名水にも掲載されているので、そういう部分のPRもしたい。

○観光施設管理費（三朝温泉街周遊拠点施設整備事業） 69,481千円

(委員) 永楽庵の土地は、いくら？

(回答) 固定資産税の評価額相当額を提示している。平米価格17,000円。測量設計約1,300千円・設計約2,600千円・用地費65,000千円。

町民課

○臨時福祉給付金事業費 29,105千円

(委員) 臨時福祉給付金事業、対象者が見込み1,900人というのは、町の二十歳以上の3分の1の人数になる。二十歳以下も対象になるのか？

(回答) 全住民が対象となり年齢は関係な

い。ただし、児童手当を貰っている子どもは、主に子育て給付の対象になる。住民税の均等割りが課税されていないことが条件、子どもは課税されていないが子育て給付もある。優先順位としては、まず福祉給付金となる。

○三代同居世帯子育て支援事業 672千円

(委員) 新しい三代同居事業は、国・県・町の事業？同居世代というのは、一つの家の中、それとも同じ敷地内に住む場合の判断は？

(回答) 町の単独事業で、基本的には住民票を同じに置いて、同じ敷地の中として家計も一緒にしているということで対象とすると考えている。

○広域入所保育措置費 34,474千円

(委員) 広域入所で34名が町外に出ているが、これを減らすような考えはないか。これに3,400万円拠出するが、これが無くなれば3,400万円を拠出しなくてもよくなる。これを減らす考えはないか。

(回答) 広域入所の制度は、保護者の利便性を図って保護者が希望する園に入れるようにしようという制度である。一番は職場にちかいという理由で広域入所制度は保護者にとって非常にありがたい制度。あえて広域入所について減らす増やすというような捉え方はしておりません。

建設水道課

○建築物耐震診断改修費補助金 11,761千円

(委員) 個人住宅はあったが、旅館等はあったのか？要綱をみていないが委員会に報告があったか。

(回答) 個人2戸・旅館1軒を計上。以前から、国県要綱に基づいて制定していたので、報告はあったものと思います。

○町道整備事業費 77,749千円

(委員) カラー舗装が情緒をつくるか？県がした場所は汚れてきているが必要なのか。

(回答) 昨年の検討委員会でカラー舗装に決定されたもので、事業化としても、温泉街の誘客に繋がると思う。車の通行により汚れてきますが、まったく黒くなる訳でもありません。

農林課

○メイド・インみさきプロジェクト支援事業 3,041千円

(委員) 「メイド・インみさき」は、みさきの新しい顔を作るということか？

(回答) 認証システムを構築する業務委託です。

○新規就農者総合支援事業 3,750千円

(委員) 二人は150万円、一人は75万円。これは年功でくざるのか、条件の違いか。

(回答) 枠が3名あり、年度の区切りにより通年で取っている者は150万円、採用の時期が半期単位で、75万円の方は半期で始まっている。

○中山間地域等直接支払交付金 56,770千円

(委員) 基本的には平成22～26年で終わる。町としては同じ方法で継続するのか。

(回答) 集落ごとに色々な配分がなされていて、農機を買うために基金として残す所や、集落によって違いがある。集落の協定で自由に使えるので、今までのような形で扱いになる。

国民宿舎（財務課）

(委員) 管理者の人員費部分はプランナーの会計で行ってはどうか。

(回答) 館を設置する者と運営する者と責任を明確にし、事業管理者は運営側で人員費は町が出資。制度やニーズが変わっていく中で対応することも踏まえて柱となる事業管理者は必要です。

(委員) 営業に出るときは支配人と臨時と一緒だと思うが、そういう人を正職員に上げては。残った正職員が支配人の代理という形はとれないか。

(回答) 現場からは館の中において責任ある立場できちんと対応する人を置きたいとの声があります。それは管理者という形で置きたいと考えております。

総務教育常任委員会



税務課

(委員) ふるさと広域連合負担金とあるが滞納額や徴収件数はどうか。

(回答) 平成24年度実績で滞納額およそ1億円のうち、4割あまりを連合委託し、その内3割近く徴収していただいている。滞納件数は250件あまり。

(委員) 入湯税の申告についてはどうか。

(回答) 事業所は入湯客から入湯税を預かり、翌月15日までに申告及び納付しなければならない。その申告書等の取りまとめを旅館協同組合が実施するので、旅館組合に手数料を支払います。

総務課 地域づくり支援室

(委員) 集落公民館建設等補助金で、どういう改修等が対象になるのか。

(回答) 冷暖房については、1/3補助で上限15万円、主たる集会室に限ります。新築の場合も対象になります。

危機管理課

(委員) 空き家対策の30万円の補助は、奥部に家を持っていて、大瀬等に出てきた

人が、古い家をこぼす場合も対象となるのか。

(回答) 壊すだけで撤去費は見えていません。町内の一般的な家屋の大きさで県の用対連の基準により90万円の額を算定していて、その1/3を助成しようとしています。

(委員) 小型ポンプについて、古いポンプはどうしているのか。まだ使って使えないことは無いと思うが。

(回答) 消防車をインターネットオークションにかけて買い手があつた。小型ポンプについては、不具合があつての更新であり、修理しようにも古いポンプなので部品がない状態であるため、納品業者が処分するようにしている。

(委員) ハザードマップについて、前は広島コンサルタントがきて勝手に作ったが、本当に役立つマップでないといけな。

(回答) 公民館は一時避難所になっているが、町の指定する避難所ではない。そういう部分も含めて検討をしている。今以上のものになるように検討していく。

健康福祉課

(委員) 長寿者お祝事業の長寿者とは？対象は何人くらいか。

(回答) 100歳以上は17名、99歳が9名、90歳が68名。88歳が82名です。

(委員) 高齢者交通費助成の「免許証がない」であるとか「車の所持」については調査するのか。

(回答) 本人の申請により確認します。

(委員) ペット健診の助成はないのか。

(回答) がん検診になると思いますが、ペット検査の助成はありません。

財務課

(委員) 地域おこし協力隊の内容はどういったものか。

(回答) ブランナールの売店を拠点に三朝米や町の特産物を販売していこうというもの。

(委員) 国民宿舎の管理者の件費はいくらか。件費を下げる理由は。

(回答) 10,788千円です。業績の悪化からということになります。

(委員) 管理者に一千万円も件費を出している。本当に必要か。副町長などが兼務できないか。

(回答) ブランナールの中から置いて欲しいという声があります。

(委員) 国民宿舎事業管理者の給与相当分を一般会計から出資する理由は。

(回答) 平成21年度から実施しているもので、施設の設置者と運営を分けて責任を明確にし、事業管理者は運営に当たる者ということで町が置き、件費は町が負担することとしている。

総務教育課

(委員) 遠距離通学費について、基準を2kmに下げたが、もとの補助の考え方は？

(回答) 従来は、小学生4km、中学生6kmを基準としていた。2kmにしたのは、2kmは徒歩通学の基準にしているの、徒歩までは補助の対象にしない。

(委員) 正善院保存修理事業(100万円)の財源は何か。

(回答) 実施設計に1,600万円かかるという考え方で、そのうち1/2の800万円を国が、1/4の400万円を県が直接正善院に支払います。三朝町は1/16を正善院に支払います。

(委員) 世界遺産の登録推進事業で、専門家を招いて情報発信するということが、別な取り組みを考えてはどうか。

(回答) 今回各分野の専門家という部分については、日本全国に学者的な方が世界遺産候補をかってに応援する勝手連という組織を組まれており、その専門家を招いて三徳山の世界遺産登録の一助にしていこうということ。

一般会計予算審査特別委員会



委員 長	清水 成真
副委員 長	吉田 道明
委 員	藤井 克孝
	平井 満博
	福田 茂樹

1. 三朝温泉入口観光案内広告塔設置事業・三朝温泉街観光誘導塔設置事業

(委員) 観光案内の設置については必要と考えるが、電光掲示板は必要ではないと考える。

(回答) 三朝温泉再整備計画の中で位置づけている事業である。メインとなる西側の入り口(キューリー公園)は夜になると見えなくなるので、電光掲示とした。

2. ふるさと健康むら整備事業

(委員) 来館者が減少しているなかで、改修・補修事業が必要なのか、根本から考える必要がある。

(回答) 健康むらは温泉街と一体のものとして考えたい。遊歩道を整備し、長期滞在される観光客にも健康むらまで足を運んでいただけるようにする。

3. 三徳山因伯の名水遊歩道整備事業

(委員) はたしてお客が来るのか。今後の維持管理費はどうするのか。結局町負担

が増えるのでは。

(回答) 国立公園編入を機に、県の補助金も予算化されており、今後、維持管理できるような遊歩道として整備していきたい。

4. デジタル化整備事業

(委員) 膨大な事業費となるが、前回撤回された事業から経費の削減となっているのか。また維持管理費等の考え方について確認したい。

(回答) NTTの鉄塔を利用し経費削減を図る計画である。維持経費には、年間465万円と5年に一度バッテリーの交換に530万円、免許の更新に63万円かかる。

5. 消防用施設整備費 機動班へAEDの設置及び設置集落への助成

(委員) 設置の仕方を考える必要がある。

(回答) 大瀬と西谷班は車内に設置しているが、今回は車庫外側に設置する。設置場所の周知を図っていきたい。

6. 三朝町空き家等撤去費助成事業

(委員) 事業実施にあたっての進め方等について再度、説明を受け詳細を確認したい。

(回答) 1棟あたりの解体費用は、平均的な家屋103㎡の解体費用をもとに積算し、補助率1/3は日南町の例を参考にした。

7. 小鹿・高勢・竹田耐震診断及びスポーツセンター耐震改修事業

(委員) 公共施設等総合管理計画が策定されてから事業化するべきではないか。

(回答) これらの施設は指定避難所になっており、安全性を確保しなくてはならない。

8. メイド・インみささプロジェクト支援事業

(委員) 事業のシステムと運営方針の詳細を確認したい。

(回答) データベースの作成は農林課と新しくグリーンサービスとプランナールに配置する地域おこし協力隊で行う。(認証の)対象として、堆肥を使った土づくりや減農薬に取り組む農家を考えている。おひさま市やフルテリア等直売の生産者の掘り起しをしていきたい。

9. 町道整備事業(三朝地内の2路線カラー舗装)

(委員) これだけの起債を使っている中で、3倍もするカラー舗装が必要なのか。

(回答) 三朝温泉街再整備計画の中で位置づけており、温泉街の明るい雰囲気と県道との一体感を演出しようとするもの。

10. 正善院保存修理事業補助金

(委員) 正善院は、宗教法人であり文化財でもない。三朝町の他の寺と同じである。

(回答) 宗教(法人)に補助するのではなく、文化財に補助するものである。住職の住まいや位牌堂は補助対象外となる。

11. 国民宿舎事業の事業管理者

(委員) 現状の経営状況で管理者を置いて一般会計からの出資を受けるのは適当ではない。営業を担当する職員を採用するなど職員体制を考えるべきではないか。

(回答) 出資については、平成21年度からの考え方を引き継いでおり、委員会、全員協議会でも説明している。事業管理者を置くことにより、支配人が営業に専念できるようにしたい。40人の職員を束ねるためにも、管理者は必要である。

特別会計10件を原案可決、国民宿舎事業は修正可決

平成26年度三朝町特別会計予算内訳（千円）

会計区分	平成26年度予算額	前年度予算額	対前年度増減（%）
国民健康保険事業	868,000	848,200	2.3
介護保険事業	920,500	926,200	△0.6
後期高齢者医療事業	87,800	82,700	6.2
簡易水道事業	37,700	35,000	7.7
温泉配湯事業	24,800	24,100	2.9
下水道事業	329,300	325,700	1.1
集落排水処理事業	94,400	98,500	△4.2
分譲宅地造成事業	6,740	7,948	△15.2
財産区	21,570	10,520	105.0

企業会計予算内訳

水道事業	収益的支出	137,300	152,000	△9.7
	資本的支出	68,000	48,000	41.7
国民宿舎事業	収益的支出	318,214	337,000	△5.6
	資本的支出	55,445	72,915	△24.0

修正理由及び付帯意見

一般会計予算で削除した事業

事業名	修正理由
小鹿地区多目的集会施設耐震改修事業 高勢地区公民館耐震改修事業 竹田地区公民館耐震改修事業	まずは、公共施設等総合管理計画の策定を行ってから実施すべきである。
メイド・インみささプロジェクト支援事業	まずは、品質の高い農産物の基準を作るべきである。
正善院保存修理事業補助金	出火原因は、自然災害でもない。他の寺院と同じであるにもかかわらず、正善院のみ補助金を出す理由が見当たらない。
国民宿舎事業会計出資金 (国民宿舎事業管理者の給与に関する部分)	過去5年間においても、実績が感じられない。管理者を置く必要が無く、設置者である町が管理をすれば良い。

なお、正善院保存修理事業補助金、国民宿舎事業会計出資金については原案通り認めるという意見もあった。

付帯意見を付した事業

事業名	付帯意見
三朝温泉入口観光案内広告塔設置事業 三朝温泉街観光誘導塔設置事業 ふるさと健康むら整備事業 三徳山因伯の名水遊歩道整備事業	事業実施に当たっては、計画の段階から担当委員会に対し協議をすること。
スポーツセンター耐震改修事業	事業実施に当たっては、8月に審査結果が出た段階で、担当委員会に対し協議をすること。
町道整備事業 (三朝地内の2路線カラー舗装)	鳥取県との協議の中で話を進めて、随時、担当委員会に対し協議をすること。

修正した特別会計予算

予算名	修正理由
三朝町国民宿舎事業会計予算 (国民宿舎事業管理者の給与に関する部分を削除)	事業管理者を設置して経営の立て直しを図ってきたが厳しい経営状況は続いている。事業管理者を継続しても経営改善は見込めないと考える。事業管理者を設置するよりも、町長を管理者として営業を担当する職員を採用するなど、職員体制を整えるべきである。

否決した条例

条例名	否決理由
三朝町国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例	事業管理者を置かない条例の設定をすべきである。

福祉

問 障がい者の就労支援体制は十分か
障がい児・生徒の特別支援教育は十分か

答 (町長) 自立支援につながる雇用対策に努力したい
(教育長) きめ細やかな教育に取り組む体制を推進している



池田雅俊議員

池田

社会的弱者といわれている障がいを持つ方々の就労に関わる支援はどのようになされているか。

町長

福祉の本質は全ての人が幸せに暮らせることで、障がいのある方が、その能力に応じた雇用の場につくことができる環境整備を進めていく必要があると考えている。

池田

本町における特別支援教育の体制はどのようになされているか。

教育長

自立、社会参加に向けた自主的な取り組みを支援するため、生活・学習上の困難を改善・克服するための支援や特別支援教育就学奨励費補助などを行っている。

また、養護学校等から専門的な力を持たれた先生においでいただ

いたり、教師間の連携を密にすることにより、一緒に、その生徒を育てていく、という体制をとるよう学校に指示している。

医療

問 国保から医療機関への給付費を減らす方策はとれないか

答 医療費抑制のため意識啓発に積極的に取り組む

池田

国保から医療機関への給付費が町財政の大きな支出先の一つとなっているが、これを減らすための施策・努力はどのような形でなされているか。

町長

病気の早期発見・早期治療、さ

らには健康づくりの意識啓発を積極的に行うことが重要だと考え、検診受診率を上げ、受診機会を増やす方策として休日がん検診も実施している。

池田

高齢者の方が元気でいきいきと生活していくことが医療費軽減と

福祉対策の両方につながっていくと思うが、町の考えは。

町長

「100歳 元気な まちづくり」を掲げて高齢者の活躍の場を拡大し、社会参加を促進して、元気な高齢者を増やしていきたいと考えている。

補助金

問 三徳山・正善院の改修の件は町民の賛同を得られるか

答 国・県との協議も踏まえ議会と協議しながら進めたい

池田

三徳山・正善院の改修について、町はどのようなスタンスで取り組むのか。

町長

三徳山の四つの宗教法人から収支決算書等について報告を受ける立場にないので経理等全く把握していないが、名勝、史跡の重要

な構成要素の一つであるという国の認定に基づいて提案しているもので、十分理解していただきたい。

子育て

問 保育料の無償化を実施する考えはないか

答 当面は第2子半額・第3子以降
無償でいきたい

能見

三朝町の人口は昭和30年の1万1,372人をピークに年々減少し、平成25年には7,000人を切る状態で、このままいけば、何らかの対策を取らない限り三朝町の存続が危ぶまれる状況にある。

人口増加には三朝町もいろいろな対策をとっているが、これといった成果が見られないのが現状ではないか。

私は、子育て支援について抜本的な対策をとる必要があると考え、具体案の一つとして、保育料の無償化を提案します。将来の三朝町を担っていく若者の定住対策となり、人口減少の歯止めにつながると考える。若桜町が全国に先駆けて無償化を実施しますが、三朝町は無償化についてどのように考えておられるのか。

次に住宅問題ですが、三朝町には移住定住促進事業補助金等の施策があるが、若者が安心して定住できる施策にはなっていないのでは。

私が、視察した自治体ではUターン、Iターンの若者に入居者の好みに合わせて町営住宅を建設し、20年間家賃を支払えば本人の物になるといった施策で人口減少に歯止めをかけたそうです。三朝町も思い切った施策で人口減少に歯止めをかけないと大変なことになります。この

2点について町長はどのようにお考えなのか伺いたい。

町長

まず、子育て支援について、保育料の無償化等のご提案をいただきました。

少子化が全国的に進み、本町においても人口が7,000人を割り込む中、子育て支援対策の充実を図り、移住促進をしていくことは大変重大なことだと認識しています。

保育園の無償化については、来年度から第2子を本町の基準額の半額とすることとし、第3子は無償化としたいと考えています。又、保育園に頼らずご家庭で子育てを行っている3代同居世帯を支援し、若者夫婦のUターンの促進も図れるのではないかと。

本町では、現在移住定住対策として、すまいる応援事業、空き家バンク事業を実施している。すまいる応援事業は町内に住宅を建築され、また購入された方には三朝米をプレゼントするものである。26年度から鳥取県の若者定住等による集落活性化総合対策事業を活用する。

能見

鳥取県は保育料の無償化や軽減する市町村には半額の支援をするとあるが、若桜町が無償化



能見貞明議員

できて、なぜ三朝町はできないか。

町長

子どもを育てるとのことでの親のかかわりを考えると、まったくの無料ということではなくて、本町では当面こういった形はどうでしょうかと思って提案したのが第2子半額、第3子以降無償です。

なお、保育料という視点だけでなく、高校生の医療費の無料化ということについても取り組んでいきたいと考えています。



開湯850年
三朝温泉

問 町民全体で、応援するムードづくりが必要ではないか？

答 しっかりと考えていきたい

清水

この度の三朝温泉開湯850年の「原点回帰」というテーマについて、どのような思いで取り組んでいかれるのか。

町長

三朝温泉は長寛3年に発見され、その後、大正5年に「ラジウム含有量日本一」が発表されました。昭和26年から始まったキュリー祭の役割も非常に大きなものだと考えています。こうした歴史の中で、その泉質の良さから「湯治湯」として療養効果の高い温泉地として栄えてきました。850年を契機に今一度、原点に立ち返りたいという思いです。

清水

「三朝温泉開湯850年を契機に、一過性のイベントではなく継続できるイベントを通して、今後も県外からお客様がお越しになる体制づくりをしたい」と言うことですが、今後もこのような考え方でやっていくのか？

町長

三朝温泉に来ていただき、三朝温泉に滞在された方々の貴重な経験談や口コミを利用して今後も宣伝を続けていきたい。

清水

「原点回帰」というテーマは、非常にわかりやすい。やはり、「湯治」を含め、温泉に滞在していただくことを、「原点回帰」と考えますが、いかがですか？

町長 全く同感です。

清水

イベントですが、「一発の花火」ではなく、「継続する事業」をしていくべきだと考えます。

町長

出来るだけ大事なことは続けていきたい。

清水

町民全体で、応援するムードづくりが必要ではないか？

町長

非常に大事なことだと思っている。しっかりと考えていきたい。



清水成真議員

清水

広報宣伝ですが、Facebook等を有効に使うべきだと思うがどうか？

町長

インターネット環境を活用して、今後も情報発信をしていきたい。

小学校統合

問 アンケート調査後の評価は？

答 教育委員会で、二校統合か三校同時統合かを結論出したい

清水

「東小学校については、現在のみささこども園に通園されている保護者を含めて、アンケート調査をする。」ということだが、いつ頃の実施され、この結果についてどのような形で評価をしていくのか。

教育長

新年度に東小学校の児童と、東小学校区にお住まいの「みささこども園」の園児の保護者を対象に、再度アンケート調査を実施して、意向を確認していきたい。

清水

これまでに、南小学校と西小

学校の統合に向けた具体的な内容について協議されたか？

教育長

そういう議論はしていません。

清水

準備委員会を立ち上げるということであるが、平成26年度中に大まかなスケジュールについて作り上げていただきたいと思いますか？

教育長

準備委員会の方で、地域代表や学識経験者も入っていただき協議を進めていきたい。

農 業

問 町内産業と連携した三朝米ブランドの
立ち上げは

答 今こそ三朝米ブランド化の
チャンスである

平井

農業・商業・観光業の町内産業が連携することにより、各産業間の情報が共有されて、町全体で各産業の問題について当事者意識を持って検討する機運が生まれてくるのではないかと考えている。これまでの農業・商業・観光などが分断された状況を解消し、町内の各産業が有機的に結合した、三朝米ブランドの組織を立ち上げる。つまり、町、民間の出資による本町独自のブランド会社を立ち上げて、町の活性化を図る考えはないか。

町長

農業・商業・観光業が連携して三朝米のブランド化を図っていくことはとても重要なことだと思っている。

三朝産きぬむすめが平成23、24年と参考品種としての出品ながら日本穀物検定協会の食味ランキングで2年連続特Aの評価を受け、さらに平成25年産については、鳥取県の産地品種銘柄として出品され、特A評価を受けるといふ快挙をなし得た。このことは、三朝町のきぬむすめの品質の高さが広く認められたということであり、私は今こそ三朝米のブランド化を進めるチャンスではないかと考えている。

来年度、販路開拓を含めた農業振興を担う地域おこし協力隊を受け入れ、いわゆる生産者の顔の

見える農業、三朝産と他の地域の農産物と差別化をして販売できるようなシステム、メイド・イン三朝認証プロジェクトを立ち上げてみたいと考えている。

平井

きぬむすめが特Aを取ったという中で、本当に三朝町の農家が喜んで、きぬむすめは特Aを取った、という認識はない。

農協が鳥取県産きぬむすめという形で販売戦略を組んでいく。三朝町の生産者に何らメリットが出てこない。

町長

今回の特A取得は素直に喜ぶ必要がある。中国地方でここ10年間なかったことを我が町がなし得た。特Aをとった38銘柄の中で、食感では我が町のきぬむすめが第1位であったという話を聞くと、三朝の米はすごい米だと素直によるこんでいい。どんどんPRしていくことによって、メイド・イン三朝ということをしかりアピールしていく。そういう中で販路の方向をきちっと確立できる。

平井

(岡山県の)新庄村では、地域の特性を生かした源流域環境保全型農業という理念を掲げて、生産・加工・販売を一体化した6次化構想を提唱して、基幹産



平井満博議員

業である農業の振興に力を入れておられる。戦略の柱がヒメノモチというもち米を加工して、付加価値をつけて販売している。町独自で、第三セクターを立ち上げて積極的にそのブランド化を図っていくという仕組みについて、取り組む考えはないか。

町長

当初、村長がその方向をだされた折に、相当標高が高く冷たい水のところで、極めて品質のいいもち米ができるということに着目されてのことで現在まで継続されている。その努力に敬意を払っている。

県境を境としている自治体同士の会議等の中では、そういった情報をいただいて、生きていく上での環境をうまく利用されて頑張っていってほしいと思っ、エールを送っているところである。

平井

三朝町独自でブランド化を図ることにより、観光と地元のことを宣伝することは、町として力を入れていくべきでないかということを提言したい。

地 観 光 光 域 と

問 各地域住民を巻き込む観光再生を

答 三朝町ならではの観光振興に
取り組みたい

石田

観光産業の成長は他の産業における成長と大いに関連があり、名所散策・宿泊・飲食・買い物などで落ちるお金は、三朝町の活性化にとって貴重なものである。観光は既存の施設や社会・文化遺産・自然を生かす事が基本であり、特に町内の地域住民を巻き込む事が必要ではないか。町全体の事業で主人公は町民である事を、アピールして認知して貰う事が必要ではないか。

町による開湯850年事業・温泉街を再生するプロジェクトなど、ソフト・ハード面で活性化させる事業を展開されているが、観光地再生には絶対成功させ、一過性に終らせず継続して行くことが必要。観光地再生PRを町民だけではなく、中部地域全体を置き去りにして取り組んではないか。

今、祭り・イベント等に参加する為に、信仰や土地に縛られた地域社会に属する必要は無くなり、地域と無関係な人々が参加し、その繋がりが外部に広がって行く時代です。人口の減少・少子高齢化により、地域を支えて行く結びつきの弱さが色々なものを衰退させている。必要なのは、町内外の人達から多くの意見を求め参加・経験して貰い、再生に必要な物を見つけて貰うことが重要では。

再生に取り組む中で、行政が

しなければいけない事は、各団体間・各地域協議会の連携による活動を推進・支援し、個別の活動を繋げる事で再生への拡がりが見えてくるのでは。

町長

観光振興をさらに進めて行く為には、温泉街関係者だけの取り組みだけではなく、町民に観光の魅力は温泉以外にもそれぞれの地域に埋もれている事を再認識していただき、地域の宝に磨きをかけていただくようにしなければならぬと考えております。県外に出れば三朝町は温泉の町ですと多くの町民が語っておられると思います。地元にいる時も、もっと語っていただく事で、町の宣伝そのものが力強い物になるのではないかと考えています。

開湯850年実行委員会には、観光商工団体・地域協議会・教育関係者・青年団・三朝区・町外では鳥取県・公共交通機関・農業団体等などに参加して貰い、全町的かつ中部地域全体の振興という観点からも、意見交換出来る場としています。昨年、実施した夏祭りでは、三朝区・地域協議会・多くの町民の皆様にも参加していただいた結果、多くの観光客で賑わって、温泉街の最盛期のような状況でした。地域から、近い所から参加していただく事がどれだけ賑わいを高めるかが印象深く残っています。町づくりに取り組む姿



石田恭二議員

勢を示唆する理想的な形だとも思っております。

今年のキュリー祭では、一日限りの開催ではなくある程度の期間を設け、各地域の皆さんと連携し、町内全域を祭の舞台として盛り上げる仕掛けも考えられると思っています。850年事業も、地域において長い歴史の中で裁われてきた文化・歴史・自然・食などの資源を活用できるよう、三朝町ならではの観光振興に取り組んで参りたいです。

旅館協同組合が、春の特別キャンペーンとして三朝温泉宿泊850円企画を展開され、大変な反響でありました。商工会では26年度、850という数字にこだわりながら地域を盛り上げる取り組みとして、温泉街での、夏祭りなどに使えるプレミアム商品券の発行を予定されております。私は、このような地域の皆さんや関係団体の方々自ら積極的に事業を企画・立案され、行政がそれを支援して行くという形が本来あるべき姿なのではないかと思っています。

2月14日開催

子ども夢議会



南小6年 谷本 光 議員

竹田地区に住んでいる高齢者のための医療体制について

(質問) 運転ができない高齢者のため、通院に町のマイクロバスの利用とタクシー利用の費用負担をしてはどうか。また、竹田地区に診療所を建て、すぐ医療が受けられるようにしてほしい。

(答弁) 三朝町では高齢者等の通院の送迎を社会福祉協議会にお願いし、通院の交通費の一部助成を行っています。路線バスの運行が限られている地域について交通手段の充実を検討したい。

「診療所」を建てることは難しいので、町民が100歳まで元気に過ごせる色々な施策を進めていきます。

東小6年 吉田 連 議員

ゆるキャラで三朝町活性化について

(質問) 広く三朝を知ってもらうために三朝町のキャラクターの「みとちゃん」と「ミササラダン」をもっと活用して有名にし、全国的に有名な「くまもん」や「ふなっしー」と兄弟関係を結んではどうか。さらに、三朝の特産品に「みとちゃん」や「ミササラダン」のシールをどんどん貼れば三朝が有名になり、観光客も増えると思います。

(答弁) 「みとちゃん」や「ミササラダン」のキャラクターは、「ゆるキャラグランプリ」に毎年参加したり、Tシャツや観光パンフ、お土産などの包装に使うなど色々な形でPRに活用しています。

「くまもん」や「ふなっしー」と兄弟関係を結ぶことは機会があれば働きかけたい。

東小6年 津村 薫美 議員

豊かな自然を活用した小鹿地区の開発について

(質問) 素晴らしい自然の小鹿溪で楽しく遊べる施設の整備と中津の雪を生かしたスキー場を作ってはどうか。

(答弁) 小鹿溪は、自然を守りながら「地域の宝」としてこのままの形で将来へ引き継ぎたいと思います。

中津にスキー場を造るとの提案ですが三朝町の近くには恩原高原スキー場や津黒高原スキー場があり、町内にスキー場を造るのは難しいが、空き家活用は進めていきます。

西小6年 松原 鈴菜 議員

三朝町をスポーツのメッカに

(質問) 三朝町にはスポーツセンターや野球場など多くの体育施設と素晴らしい温泉があり、「プランナールみささ」をスポーツ合宿所にするのを提案します。オリンピック選手が合宿すればうれしい。

(答弁) 本格的なスポーツ合宿所とするには町内や町外にスポーツ施設が少ないので、スポーツ合宿だけの利用とせず、色々なお客さんが泊まれる宿としてがんばっていききたい。

西小6年 吉田 有花 議員

公園施設の充実について

(質問) 三朝町には子どもの遊べる公園が少ないので、大きな公園も良いが子ども同士が気軽に遊べる公園を作っていただきたい。

(答弁) みなさんの住んでいる集落や地域には、まだまだ皆さんが知らない魅力的な自然の遊び場や自然の遊具があると思います。地域のみなさんと一緒に掘り起こしてください。

西小6年 谷本恵太郎 議員

街灯の設置について

(質問) 通学路やバス停に街灯がなく危険なので、安全に暮らせる三朝町にするため街灯を増やしてほしい。

(答弁) 町民の安心安全を確保する上で、必要なところに街灯を増やしていくことはとても大切です。街灯の増設について区長さんや学校の関係者と話し合ってみてほしい。

西小6年 松本 麗衣 議員

森林の有効活用について

(質問) 三朝町の90%を占める森林を活用して大山にあるような大規模なアスレチック施設やログハウス村のようなものを作れば多くの人に来て楽しく過ごせると思います。

(答弁) 三朝町には新しい施設を作らなくても四季折々の素晴らしい自然やウオーキングが楽しめる多くの林道や三徳山の投入堂までの修験道があります。三朝の素晴らしい自然を楽しんでほしい。

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）	石田	吉田	池田	能見	中信	山口	清水	藤井	福田	平井	牧田	山田	結果
		恭二	道明	雅俊	貞明	貴美代	博	成眞	克孝	茂樹	満博	武文	道治	
町長提出議案名														
（1月臨時議会）														
1	平成26年度三朝町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	工事請負契約の締結について （三朝温泉観光商工センター改築工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（2月臨時議会）														
3	工事請負契約の締結について （三朝町役場庁舎耐震改修及び建物改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（3月定例議会）														
5	平成26年度三朝町一般会計予算 特別委員会修正案 議員提出修正案 ①④を前除 ①⑤⑥を前除	①小鹿地区多目的集会施設耐震改修事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
		②高勢地区公民館耐震改修事業 ③竹田地区公民館耐震改修事業 ④メイド・インみささプロジェクト支援事業 ⑤正善院保存修理事業補助金 ⑥国民宿舎事業会計出資金 （国民宿舎事業管理者の給与に関する部分）	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	
6～15	平成26年度特別会計予算（10件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	平成26年度三朝町国民宿舎事業会計予算 （国民宿舎事業管理者の給与に関する部分）	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	修正可決
17	三朝町職員の修学部分休業に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	三朝町職員の高齢者部分休業に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	三朝町空き家等の適正管理に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	三朝町子ども・子育て会議条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	三朝町国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の設定について	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	否決
22	三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	三朝町基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	三朝町社会教育委員に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	三朝町農林漁業者健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	三朝町ホームヘルパー派遣手数料の徴収に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	三朝町高齢者介護予防及び生活支援事業手数料徴収条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31～40	平成25年度三朝町一般会計補正予算（第7号） 平成25年度特別会計補正予算（9件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	三朝町課設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	副町長の選任について	○	○	●	●	○	○	○	欠	●	●	●	○	議長裁決により同意

※○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。 ※山田道治議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
「特定秘密の保護に関する法律」（秘密保護法）の廃止を求める陳情	憲法改悪反対鳥取共同センター	趣旨採択	陳情の趣旨は理解できる。
特定秘密の保護に関する法律の廃止または抜本的改正を求める意見書提出の陳情	鳥取県・中部九条の会	趣旨採択	同上

牧田前議長が 全国町村議会 議長会表彰受賞



前議長の牧田武文議員は、この度、町村議会議員として議会の運営及び地域振興発展に特に顕著な功労があったと、全国町村議会議員特別表彰を受けられました。(平成26年2月6日付)

牧田議員は、永年にわたり町議会議長を務められ、その間鳥取県町村議会議長会会長の重責を兼務されました。牧田議員の受賞をお喜びし、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りします。

議会事務局人事異動 新事務局長 山根 猛 昭さん



三徳山地域が 国立公園に編入！



三徳山地域（300ヘクタール）の大山隠岐国立公園への編入が決定し、三徳山にちなんで3(み)月19(とく)日に官報公示されました。

三徳山地域が大山隠岐国立公園へ編入された理由は、大山や蒜山の火山と同様の特徴的な地形、山岳仏教の聖地としての歴史文化における共通性と自然林の希少性によるものです。

今回の編入は、三徳山の文化的価値を一層高めるものであり、町民として喜びたいと同時にさらなる保護活動に努めなければなりません。

おわりに

ちよひわらび

「銀も 金も玉も 何せむに 勝れる宝
子にしかめやも」万葉の歌人、山上憶良(やまのうえのおくら)の和歌である。

古来から、子どもは親や家族はもちろん国にとっても一番の宝物であることに変わりない。子どもは国家において最も重要な財産であり、責任を持って大きく育てていく事がその時の、為政者、親、大人にとつての責務である。

今を生きる我々にとつて「少子化」という問題は、その中に幾つもの大きな問題を含んでいるように思う。人口問題、高齢化問題、保育・教育問題、過疎化問題、これら社会問題とされている国の根幹に関わる大問題の源はこの「少子化」問題ではなかるうか。

今、我々ができることと、この小さな町からできること、やらねばならぬことを真剣に考えていかなければ取り返しのでないことになってしまふ気がしてならない。決して国や県といった大きなレベルの問題だからと高をくくってはいは、三朝町に明るい未来はやってこない、そんな気がする。

いつやりますか・・・今でしょ
(能見貞明 記)

発行責任者

議長 山田 道治

編集

議会広報常任委員会

委員長 山口 博

副委員長 池田 雅俊

委員 福田 茂樹

委員 清水 成真

委員 能見 貞明